

平成30年度 専門実務課程

子育て支援の在り方

開催の御案内

市町村職員中央研修所（市町村アカデミー）では、「子育て支援の在り方」と題した研修を下記のとおり開催します。

子育てをしやすい社会環境を形成するため、子育て支援における市町村や地域コミュニティの役割、多様化する幼児教育・保育ニーズへの対応（認定こども園制度等）、子育て支援に関連する諸課題等、市町村に求められている子育て支援の在り方について学びます。

多くの皆様の御参加をお待ちしております。

開催要領

日程	平成30年6月25日（月）～6月29日（金）（5日間）
場所	市町村職員中央研修所（通称：市町村アカデミー）
対象	市区町村職員 中堅職員以上 市区町村において特に希望する場合には、該当しない職員についても申込みの上、受講することができます。
定員	60名
経費	8,250円以内（食費を除く。教材用図書費が別に必要となる場合があります。）
申込期限	平成30年4月3日（火）
申込方法	当研修所ホームページの「研修受講申込」の「電子申込」サイトから申し込んでいただくか、「研修受講申込書」に必要事項を御記入の上、郵便又はFAXにより送付してください。

※記載内容については、都合により変更となることもあります。あらかじめ御了承ください。

会場 及び 問合せ先：市町村職員中央研修所 研修部
〒261-0025 千葉県千葉市美浜区浜田1-1
TEL：043-276-3126 FAX：043-276-8484 URL：http://www.jamp.gr.jp

内容と時間

- 6/25 月
- 13:30~15:00 受付
 - 15:30~ オリエンテーション・開講式

● 9:00~12:00 子育て支援策における自治体の役割（講義）

関西大学人間健康学部長・教授 山縣 文治 氏

内容 子育て支援の目的、少子化対策の経緯、各種子育て支援制度の現状と課題について、関連法や今後の社会保障・税改革の動向を踏まえながら、仕事と生活の調和の推進等も含め、自治体に求められている役割・取組等について学びます。

6/26 火 ● 12:00~13:00 昼食

● 13:00~15:35 児童虐待の初期対応（講義）

（社福）横浜博萌会子どもの虹情報研修センター専門相談室長 小出 太美夫 氏

内容 子育て支援と切り離せない児童虐待の発生する背景や現状などを学ぶとともに、児童虐待防止対応策や初期対応と課題、関係機関（都道府県等）との連携、市町村の役割などについて、事例を交えて学びます。

● 15:50~17:00 課題演習（討議）

内容 数人の演習班に分かれ、各市町村が直面する政策課題をテーマとして、自主的なグループ討議を行います。

● 9:00~12:00 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）（講義）

株式会社クオリアアソシエイト講師 瀧井 智美 氏

内容 共働きが増え、ライフスタイルが多様化している。仕事と子育てなどの生活を両立するためには、男女共に今までの働き方を見直し、バランスの取れたライフスタイルの実現に向けて努力していく必要がある。子育て支援に不可欠なワーク・ライフ・バランスを学びます。

6/27 水 ● 12:00~13:00 昼食

● 13:00~14:10 課題演習（討議）

● 14:25~17:00 多様化する幼児教育・保育ニーズへの対応とサービスのあり方（講義）

淑徳大学総合福祉学部教授 柏女 霊峰 氏

内容 多様化する幼児教育・保育ニーズへの対応とサービスのあり方について理解を深め、保育環境の整備に向けた方策を学びます。

